

Skip!

スズキ販売労働組合

vol.6

2011.4.15.発行 / 2011年4月号

かわらばん

みんなと創るコミュニケーション冊子

「Skip!」vol.6は、かわらばんバージョンです。

2011年 春闘～第3回交渉～を

速報でご紹介します!

どうぞお見逃しなく!!

Topics スズキ販売労働組合 活動トピックス

2011年 総合生活改善(春闘)の取り組み ～第3回交渉～



2011年総合生活改善の取り組みは、要求書提出(2月23日～2月末)から交渉を積み重ね、第3回交渉を4月7日(木)浜松グランドホテルで行いました。4月20日(水)の回答指定日に向け、まじめにひたむきに頑張る組合員ひとり一人の生活の安定と向上を図っていくためにも、スズキ販売労働組合48支部が一丸となって取り組みを進めます。

【第3回 交渉報告】

組合 会社の目標必達に向け懸命にがんばり続ける組合員に対し、満額での回答をお願いします。

会社 組合員のがんばりに感謝している。労使が共に「お客様を大事にすることが基本である」ことを念頭に「日頃の働きを安易にせず、'私たちを支えているのはお客様である'ことを忘れてはいけない。そして市場の環境変化に対応していかなければならない事がたくさんある。だから常に日頃の働きを見つめなおし変化に対応していくことが必要である。厳しい環境を組合の皆さんにもご理解いただき、労使一体となって取り組んでいただきたい。

第3回交渉ではスズキ販売労働組合48支部を代表して自販青森支部、自販茨城支部、自販新潟支部、自販近畿支部、自販熊本支部の5支部から会社施策必達に向けた組合員のひたむきな努力を訴えるとともに、「モチベーションを上げ、生活の安定を守るための満額回答」を求めました。

スズキ販売労働組合 活動トピックス

代表支部からの主張

自販茨城支部 立野支部執行委員長

- 自販茨城で働く仲間の頑張りを伝えさせていただきます。2010年度、茨城支部では相替社長の元、全ての部門において全国のトップを狙い、日々の仕事に無駄の無いように業務に携わってまいりました。
- 会社の経費を抑えるコストダウンへの意識を高め、残業時間の低減や計画有給休暇の実施等、日々時間管理を行い、組合員の生活のバランスも考えながら仕事の質も落とさないように頑張っております。
- その中でも、かえるプラン、メンテナンスパック、JAFロードサービス、任意保険等の新規加入に「お客様を大切に」という観点から力を入れ、全国トップの実績を作り上げてまいりました。全社員がお客様の笑顔を見る為に尽力し、お客様より収益をいただく事の喜びをかみしめながら毎日の業務を頑張っております。
- 今回の東日本大震災でお客様から差し入れをいただいたことや自宅近くから川の水を汲んでお客様に配る社員もいました。また、社員同士で食糧を譲り合い、助け合う光景も見られました。車という商品が無くなったから関係が切れるようなお付き合いでは無く、手を取り合ってお互いに助け合う事のできる人としての関係に私個人の意見ですが、大変感動し、こんなに素晴らしい社員が務める自販茨城に所属できることを誇りに思います。
- 今後、茨城県の復興に向け、私共には苦難や悩みがたくさん発生するものと考えられます。大好きな仕事も自分達の生活も前向きなモチベーションを維持し、さらに向上させていく為にも日々精進し、会社も社員も喜びを分かち合うことのできる回答を自販茨城支部を代表してお願いします。



自販青森支部 工藤支部執行委員長

- 自販青森支部は全国41番目の支部として昨年4月に結成しました。
- 毎月、労使協議・執行委員会・職場大会を開催する事により、会社の状況・要望を組合員全員で理解する事ができ、職場からの改善要求を直接社長と協議することで、今までやむやみだった事例や職場で抑えられていた事などが解決しています。その結果、職場環境の改善が行われ、経費削減・利益アップに繋がっていると感じています。会社からの報告で22年度第3四半期の収益が過去4年間で初めての黒字計上だと聞いています。
- 組合活動として、就業規則・賃金規則等の勉強会を開き、周知してもらうことで会社の規律を保つ意識付けができ、働き方についても自分たちで業務のムダを削除し、「時間管理」をしっかりとやろうという改善に取り組みを進めています。そして日々、就業時間内で業務をこなすようはたらきかけています。
- 特に「家庭の日」については小池社長自ら先陣をきって呼び掛けをして頂き、組合員から「家族との時間が増えた」との声も聞こえています。家庭の円満から、業務意欲が増えていると感じています。
- 今後も労使一体となり、組合員が明るく元気に、高いモチベーションを持って働くことができる労働環境と生活環境を目指します。
- 今回、東日本大震災で青森県の太平洋沿岸も被災地になってしまいました。多くの方が住宅・車を流され、職場を失いました。物資の流通経路も断たれた陸の孤島となってしまいました。そんな中でも組合員から聞こえた声は「みんな大丈夫か?」「何か不足している人はいないか?」「会社に被害はないか? 販売店様は? お客様は?」という周りを気遣う声でした。被害の少なかった地域から被災地の営業所に物資を送ったりもしていました。自販青森の社員の心の繋がりを強く感じました。今後も労使一体となり、組合員が明るく元気に、高いモチベーションを持って働くことができる労働環境と生活環境の向上を目指します。



自販近畿支部 寺田支部執行委員長

- 昨年度は補助金政策、新型ソリオ・MRワゴンの新車効果等で会社が黒字回復傾向となりましたが、その中で我々は様々な形で会社施策に協力し収益を下支えしてきました。例えば、補助金終了後の盆休みの出勤、補助金終了後は友人・家族親戚への車販、車検紹介キャンペーンに参加、有志で販売士3級資格を取得して接客レベルを上げたこと、「チャレンジ報告書」というものでそれぞれの仕事での成功事例を公表して社員間の共有認識として活かしてきたこと等が挙げられます。
- しかしながら、先般の震災や他メーカーとの販売競争激化等、今後の見通しは厳しいものが予想され、生き残るためには生産性を上げるだけでなくコストダウンの徹底も重要になってきます。
- これを受けて先日の執行委員会でも、組合役員またその先にいる組合員にわかりやすいよう、次のように説明し協力を求めました。一時金の0.4カ月増しの要求は、20万円の月給の人は8万円に相当し、それだけの増額を要求するからには各人が毎月前年よりも1万円分以上は生産性を上げるか、コストダウンを実践するかの活動をお願いしたい、ということです。
- これまでも事務所の消灯やエアコン温度設定への配慮、少額時の夜間金庫利用のあり方等、労使協議の場で問題提起してきました。結果、最近では様々な提案が耳に届くようになりました。例えば、毎朝のミーティングをより密にすることで役所・警察署への書類取得ロスを減らす、といったものです。
- こうした取り組みの成果はわずかなものかもしれませんが、組合員ひとり一人がこの意識を持って会社の収益アップに貢献しようとするのが大事であると思います。組合員の日常の頑張りと工夫について述べました。是非とも評価いただくようお願いいたします。



自販熊本支部 堀川支部執行委員長

- 東日本大震災の被災地区のスズキ代理店並びにスズキグループで働く皆様と、そのご家族の皆様に対し、また被災地に住むすべての方に、心よりお見舞い申し上げます。私自身も11歳の時に水害にて被災致しました。その時に色々な方面の方から応援を頂きました。今ここに私がいるのもその時の温かい応援のおかげです。同じ人間として、被災者の方に手助けできることは何か、みんなで考え、行動していきたいと思えます。
- このような状況の中で、「被災地で困っている方のことを考えると、春闘どころではないのではないか」と言う声も支部の中にもあります。そんな声を聞くと、支部の代表として、春闘の取り組みを引っ張っていく立場でありながら、そんな仲間の、遠く離れた被災地の方を思いやる声に、正直私も共感します。
- 被災地の方の為に何が出来るかを考えると販売活動が十分に出来ない同じ直営代理店の仲間の分まで、自分たちが頑張って販売し、収益を上げることでないかと考えます。そして、みんなで頑張った得た収益を被災地代理店の復興に充当してもらうことにより、一日も早く、共に喜び、笑いあえる日が来てほしいと思います。最後に田村専務にお願いですが、被災地の同じスズキの仲間、精一杯の支援と勇気を提供してあげてください。スズキ販労の仲間みんな、一丸となり、精一杯がんばります。



自販新潟支部 淡路支部執行委員長



●私達自販新潟では、約3年前より、日々の業務の無駄を省くことを中心にコスト削減に取り組んでまいりました。その中でもファックスの電子化を実行することで、その他の文書についても無駄なプリントアウトはしないという意識が社員ひとり一人のなかに根付いてきていると感じております。

●業務内容の見直しやフレックスタイム制を導入することで各部署の繁忙期に対応できる体制を整えたり、無駄な残業時間の削減に取り組んでおります。これらは個々で見ると小さなことかもしれませんが、その積み重ねが会社運営に繋がっていることを社員それぞれが強く意識するようになりました。

●この度の震災により、新車の生産が困難になっている事は否めない事実です。このことから、今後の取り組みとして、引き続き無駄を省き、さらなるコスト削減をすると共にサービス・部品・中古での売上向上に尽力し、カバー率100%を達成すべく社員一丸となって努力する所存です。

●スズキ販売労働組合48支部が会社施策に協力し、生産性向上や効率的な働き方の追求など、懸命な努力を積み重ねてまいりました。真面目にひたむきに頑張る組合員が今後も高い意欲・活力を持って働いたうえで生活の安定・向上を図っていくためにも、満額回答をお願い致します。

会社コメント

(田村専務)

●大変な震災が起きてしまった。生産が上がらない状況でお客様やお客様と第一線で働く代理店の皆さんにご迷惑をかけている。この震災で幸いなことは社員全員が無事であったことである。これからも被災地区の仲間に支援していく。(メーカーからの物資輸送や新潟、山形の近県からの支援継続)。組合からのカンパ金活動にも大変感謝している。会社からも協力させていただきたい。

●日頃の危機管理、防衛体制の中で第一の行動が人命確保である。この震災で「日頃の備え」をしっかりしなければいけない事項を見つめなおし、危機管理体制を強化していく。

●国内四輪は、2月までは良い方向で推移していたが、146期は前年台数に対し、小型車101%、軽四輪94%であった。登録車は前年を上回ったが、量を稼ぐ軽四輪が前年を下回ったことが非常に厳しい。また、震災により仙台納整センターの車2,000台の被害をはじめ、多大な損失を被った。これから全員で取り戻していく。こういう状況でも黒字を出した代理店が増えたことは皆さんの頑張りのおかげであり、今後も全代理店で黒字を確保出来るようにしていくことが大切である。

●厳しい状況の中でも収益を上げることが出来るようになってきたことは「今まで安易に働いていたことを見直し、国内営業部と代理店とが一体となり、皆さんが頑張っていたからである。これからは「お客様を大事にする」ことを基本とし、「私たちが支えているのはお客様である」ことを忘れてはいけない。今までの働き方や行動を振り返り、どんな環境が変化していく中で私たちの働き方や行動も変化していかなければならない。

●お客様相談室にかかってくる案件の中で商品に関するものでは「エアバックに関する事項」が多い。お客様に車の正しい使い方を皆さんからしっかり伝えてほしい。また、納期についての問い合わせが増えている。お客様に「納期でご迷惑をおかけしている」ことについて丁寧な対応をしていただきたい。日本全国でお客様にご迷惑をかけていることを労使共に理解し、一緒になって取り組んでいただきたい。

そして労使でこの難局を乗り越え、雇用をしっかり確保したい。



組合コメント

(池富中央執行委員長)



●日ごろからスズキ販売労働組合の諸活動に対して理解と協力いただき、感謝申し上げます。併せてこのたびの東日本大震災救援カンパへの絶大な協力にお礼申し上げます。

●スズキ販売労働組合も御蔭様で48支部となり元気に活動している。活動の柱は、「意識づくり・組織づくり・活動づくり」加えて組織を動かすのは「人」と捉え、強い組織とするため人づくりに力を入れている。それが「人間力の向上」となり、職場で貢献できる人材育成につながると考えている。

●今、聞いた「日ごろの働き方を安易にはいけない」との話は職場に伝え、私たち組合員一人ひとりが持ち場、持ち場で果たすべき役割を責任もって遂行していく。

●「雇用は守る」との話は大変ありがたい感謝する。今、スズキ販売労働組合は災害に対しても、組合活動に対しても「心ひとつ」になっている。

この団結力、結束力を大事にし、がんばってこの難局を一緒に乗り越えていく。

4月20日氷の回答指定日に向け、全員が参加意識を持ち一体となって取り組みを進めることが、交渉を行う執行部にとって力強い後押しになります。難局を乗り越え、生活基盤を確保するために一致団結! 心をひとつにしてみんなで頑張りましょう!

速報

第17回 統一地方選挙 スズキ労働組合 組織内議員候補者の選挙結果

●静岡県議会議員選挙(4月10日)

田口 章(たぐち あきら) 【選挙区：浜松市西区】 **当選** 得票数 19,109票

●浜松市議会議員選挙(4月10日)

徳光 卓也(とくみつ たくや) 【選挙区：浜松市西区】 **当選** 得票数 6,299票

スズキ労働組合組織内候補者であり、同じスズキグループで働く仲間としてスズキ販売労働組合において推薦した田口章、徳光卓也の両名が当選しました。皆様のご支援・ご協力誠に有難うございました。

生活豆知識

酒は百薬の長

飲酒運転の罰則が強化され、運転者だけでなく飲ませた人や容認した人も罪に問われるようになりました。昔から言われてきた「酒は百薬の長」という言葉も死語になりそうな雲行きですが、実はこの言葉、西暦1世紀ごろ、中国「新」という国がはじまり。当時この国は塩、酒、鉄を国有化し、そのときに「塩は食肴の将」「酒は百薬の長」「鉄は田農の本」というキャッチフレーズで宣伝しました。塩と鉄のほうはとくに忘れられましたが、酒のほうは左党の心情にぴったりだったのか2000年後にまで残ったというわけ。といっても酒が楽しい働きをするのはアルコールが入り始めた段階までで、ここでやめれば血液の循環はよくなり、疲労回復、ストレス解消、食欲増進に役立ちます。風邪の引き始めに卵酒やショウガ酒が効くのも昔から実証されています。しかしアルコールには脳の働きをマヒさせる働きがあり、飲むにつれて知覚や運動能力を司る部分が抑えられ、情報処理能力、注意力、判断力などが低下してきますから、自動車の運転はもっとも危険。また脳がマヒすることで自律神経の働きを弱め、深酒をすると男性機能が低下します。飲み続けることでアルコール依存症になったり、肝機能障害を引き起こす危険性も。「わかっちゃいるけどやめられない」と無責任に歌ってる場合ではありませんね。



ちょっと一息。

8個の間違ひさがし

締切/6月3日(金)

抽選で**10名**の皆さんに「クオカード(1,000円分)」をプレゼント!

A・Bの絵には、8カ所の異なるところがあります。よ〜く見て、**間違いのない枠の番号**を答えてください(印刷のズレや汚れは関係ありません)。

正解者の中から抽選で**10名**の皆さんに「クオカード(1,000円分)」をプレゼント!

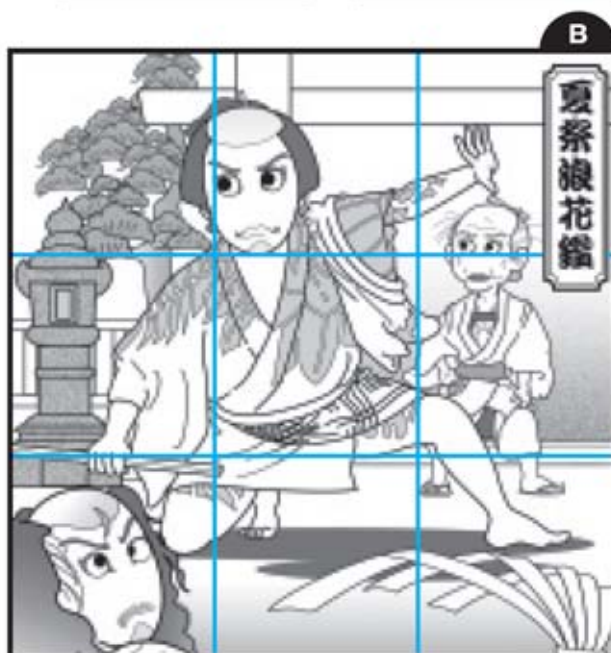
別紙のアンケート用紙に答えをご記入し、お近くの支部執行委員、または支部書記長にお渡しいただき、ご応募ください。

締め切りは6月3日(金)

こたえ

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 |

[問題]



「支部インフォメーション」、「支部活動ニュース」コーナーは今回お休みさせていただきます。



スズキ販売労働組合

〒432-8062 浜松市南区増楽町20
Tel.053-447-3230 Fax.053-447-6648

スズキ販売労働組合 Skip! vol. 6

■発行日/2011年4月15日 ■発行人/池富 彰 ■編集人/鈴木 隆文

■印刷所/杉山メディアサポート(株)

■編集部/〒432-8062 浜松市南区増楽町20 SUN会館内 スズキ販売労働組合(担当/鈴木隆文) Tel.(053)447-3230 Fax.(053)447-6648